

ほけんだより 感染症号 2017.11.21 (No.10)

中之島小
ほけんしつ



すっかり寒くなり、和歌山市内ではインフルエンザなどの感染症が流行しはじめています。中之島小学校では、インフルエンザはでていませんが、かぜを引いている人が増えてきました。

感染症は予防することが大切です。そして、もし発症してしまったときは、お医者さんに診てもらい、しっかり体を休めて完治させましょう。



こんな症状に注意しよう！ かぜ・インフルエンザ・感染性胃腸炎

ふつうのかぜ

- 熱(あまり高くない)
- くしゃみ
- せき
- 鼻水
- のどの痛み

インフルエンザ

ふつうのかぜ +

- 高い熱(38℃以上)
- からだの痛み
- さむけ

ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎

- おなかが痛い
- 吐き気
- 下痢
- 熱(あまり高くない)

病気になるないように、手洗い・うがいをし、

規則正しい生活をしましょう！

寒くても換気することも大切です！



保護者の方へ

左記の通り、感染症が流行り始めました。ご家庭におかれましても今一度、健康管理や予防対策についてのご協力をよろしくお願いいたします。

* 朝の健康観察をお願いします *

- ＜観察内容＞
- ・ 顔色や動作の様子
 - ・ 声の調子
 - ・ 食欲の有無
 - ・ 排便の有無と便の様子
 - ・ 検温や視診、触診による体の状態の把握 など



普段のお子さんの様子と違い、調子が悪そうなときは、無理をせず休ませてあげてください。

* 感染症を予防するには *

- ・ 手洗い、うがいの励行
- ・ 部屋の換気
- ・ 十分な睡眠と休養
- ・ バランスのとれた食事、水分の補給
- ・ 人ごみを避ける
- ・ マスクの着用 (体調が悪い時は特にこころがけてください)



* 学校感染症と出席停止について *

＜学校感染症＞

インフルエンザ・百日咳・麻疹・流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
風しん・水痘(水ぼうそう)・咽頭結膜熱・結核・髄膜炎菌性髄膜炎 など



※溶連菌感染症やマイコプラズマ肺炎、ノロウイルス等による感染性胃腸炎などは出席停止扱いになっていません。しかし、感染性の疾患なので、医師の指示に従ってください。

- ・ 学校感染症の疑いがあるときは、早めに病院を受診してください。
- ・ 学校感染症と診断された場合は、受診後に学校まで連絡ください。
- ・ 定められた出席停止期間及び医師の登校許可が出るまでは、登校できません。
- ・ 登校許可が出た際に、医師に「学校感染症証明書」(学校からお渡しします)を記入していただき、治癒したことの証明をもらってください。登校再開した日に、「学校感染症証明書」を学校にご提出ください。

※ インフルエンザの場合は、「学校感染症証明書」ではなく「インフルエンザによる欠席届け」を学校にご提出ください。こちらは、保護者の方が記入してください。中之島小学校のホームページに、「インフルエンザによる欠席届け」と出席停止期間の説明を載せています。ご活用ください。